




## たった2コマで応募作品バージョンアップ

夏休みの前後2コマを使って、出品作品の完成度を高める授業展開モデルを紹介します。

### 1 夏休み前の45分授業

ねらい	未来に目を向け、自分自身があったらいいなと思うものを自分で考えようとする。		
	授業の様子	授業のポイント	準備物
はじめ 10分	 グループ別イメージマップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○そうなって欲しい未来について個人で想像する。</li> <li>○個人で創造した未来イメージをグループで共有する。</li> <li>○グループで共有した未来イメージを発表し、クラス全体で共有する。 【反応】環境にやさしい、人にやさしい</li> <li>○そうなって欲しい未来イメージから、未来にあったらいいなと思うものを想像する。(数名に思いついたものを発表させ、活動のイメージをしやすくする。)</li> </ul>	ホワイトボード (B4用紙可)
なか 15分	 ガイド活用のポイントを発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リーフレット内の「イメージシート」の作成についてのポイントを理解する。(作成の手引きの利用)</li> <li>【おさえること】               <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵と言葉でまとめること</li> <li>・未来に必要な理由</li> <li>・あったらいいなと思うものの特長</li> </ul> </li> </ul>	リーフレット 実物投影機
おわり 20分	 個人作業の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イメージシートのレイアウトを、個人で考える。</li> <li>「あったらいいなと思うものの理由や特長が読み手に伝わりやすいレイアウトはどれかな？」(手引きの作品を見せながら)</li> <li>※作品の完成は夏休みなので、このステップではレイアウトができるとOK!</li> </ul>	個別の画用紙 作成の手引き 実物投影機

## 2 夏休み中の自由研究

夏休み前の授業によって、絵シートのイメージが持てると意欲的な作品が期待できます。




【あったらいいと思わせるようなストーリーを意識したレイアウトで】



【「あったらいいなと思うもの」の特長を意識したレイアウトで】



3 夏休み後の45分授業

ねらい	自分の作品の工夫を分かりやすく伝えたり、友だちの作品のよいところを聞いたりすることができる。		
	授業の様子	授業のポイント	準備物
はじめ 5分	 <p>自分の伝えたいことを確認</p>	<p>○授業の流れとループリック（評価のポイント）を確認する。</p> <p>○自分が伝えたいこと（理由、特長など）を確認する。</p>	自分の作品
なか1 (グループ) 20分	 <p>グループ内で紹介</p>	<p>○グループごとに紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1グループの人数は4, 5人</li> <li>・伝えるための持ち時間は2分</li> <li>・発表後に質問・アドバイスタイムを入れる。</li> </ul> <p>○グループ内でよかったと思うイメージシートを決める。(選ぶ視点:「伝えたいことがはっきりしていたか」)</p>	自分の作品
なか2 (全体) 15分	 <p>グループ代表による紹介</p>	<p>○グループ代表の発表を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えるための持ち時間は2分</li> <li>・発表後に質問・アドバイスタイムを入れる。</li> </ul> <p>○友だちの作品のよかったところを発表する。</p> <p>【伝え合いで大切にしたいこと】 友だちの考えた「あったらいいなと思うもの」のアイデアのおもしろさを認め合う機会にする。</p>	自分の作品 実物投影機
おわり 5分		<p>○自分の作品を見直す</p> <p>※次の1コマが確保できれば、その時間を使って修正をする。時間確保が難しいようなら、学校や家庭で行う。</p>	自分の作品

子どもアイデアコンテストへの応募